

礼讃文 (三帰依文)

【一】

人身受け難し、今已に受く。

仏法聞き難し、今已に聞く。

此身今生おいて度せずんば、更に何れの

生おいてか此身を度せん。大衆もろとも

に、至心に三宝に帰依したてまつるべし。

自ら仏に帰依したてまつる。当に願わく

は衆生とともに、大道を体解して、

無上意を発さんことを。

自ら法に帰依したてまつる。当に願わく

は衆生とともに、深く経蔵に入りて、

智慧海の如くならんことを。

礼讃文 (三帰依文)

【二】

自ら僧に帰依したてまつる。当に願わく

は衆生とともに、大衆を統理して、一切

無碍ならんことを。

無上甚深微妙の法は、百千万劫にも遭遇

うこと難し。我今見聞し受持することを得

たり。願わくは如来の眞実義を解したてま

つらん。